

令和6年10月9日
北九州市産業経済局

報道機関各位

“令和6年度 北九州 DX 大賞” 募集開始!!

～北九州市内の中堅・中小企業における DX 優良事例を表彰します!～

北九州市では、市内企業が実施するDXの取組を支援することにより、事業変革や生産性向上につなげ、競争力の維持向上を図っています。

この取り組みを通じて、経済産業省が全国の中堅・中小企業向けに実施する「DX セレクション」において、全国の自治体で唯一、3年連続で北九州市内の企業が受賞するなど、DX モデルとなる企業が多く生まれつつあります。

このような中、より多くの DX による事業変革企業創出や、市内企業のDX取組みレベルの引き上げを図ることを目的に、DX優良事例となる取り組みを実施している市内中堅・中小企業を表彰し、モデルケースとして取組事例を発信する表彰制度である「北九州 DX 大賞」の募集を開始いたしますのでお知らせいたします。なお、本表彰制度は2年目の取組になります。

記

1 募集期間

11月15日(金)まで

※受賞者は1月以降に公表予定です。



2 対象企業

北九州市内に本社もしくは事業所を有する中堅・中小事業者

3 審査項目

経済産業省が、企業価値向上に向け実践すべき事柄としてとりまとめている「デジタルガバナンス・コード」の項目を中心に審査します。

4 表彰数

グランプリ 1社、準グランプリ 2社、優秀賞 複数社

※グランプリ、準グランプリの3社については経済産業省「DX セレクション」に推薦します。

【問合せ先】

産業経済局 未来産業推進課
担当:岩本(課長)、清水(係長)
電話:093-582-2905

令和6年度



北九州DX大賞

中堅・中小企業のDX優良事例を表彰します！



応募期限

11月15日まで

北九州市では、市内企業が実施するDXの取組を支援することにより、事業変革や生産性向上につなげ、企業の競争力の維持向上を図っています。この取組を通じて、経済産業省「DXセレクション」において、これまで北九州市内の企業が3年連続で受賞するなど、DXのモデルとなる企業が多く生まれつつあります。

このような中、より多くのDXによる事業変革企業の創出や、市内企業のDXをより一層推進していくことを目的に、DX優良事例となる取組を実施している市内中堅・中小企業を表彰し、モデルケースとして取組事例を発信する「北九州DX大賞」を募集します！

募集対象

- ・北九州市内に本社もしくは事業所を有する中堅・中小事業者※
※資本金の額又は出資の総額が10億円未満の法人並びに常時使用する従業員の数が2,000人以下の法人、又は、相当規模の事業者。

申請のメリット

- ・申請作業を通じて自社のビジネスモデル等が整理され、**新たな課題や解決策の気づき**に繋がります。
- ・受賞された企業は**自社のPR**にご活用いただけます。市も優良事例として広くPRします。
- ・市等が審査を行う制度の一部において、**審査加点等の優遇措置**を行います。

裏面に続きます

表彰数



グランプリ：1社



準グランプリ：2社



優秀賞：複数社

審査項目

- ・経済産業省が企業の価値向上に向け実践すべき事項としてとりまとめている「デジタルガバナンス・コード3.0」の項目を中心に審査します。

①経営ビジョン・ビジネスモデル

②DX戦略

③組織作り

④デジタル人材の育成・確保

⑤ITシステム・サイバーセキュリティ

⑥成果指標の設定・DX戦略の、見直し

⑦ステークホルダーとの対話

⑧北九州市域への好影響

デジタルガバナンス・コード3.0についてはこちらから



表彰の詳細や応募方法

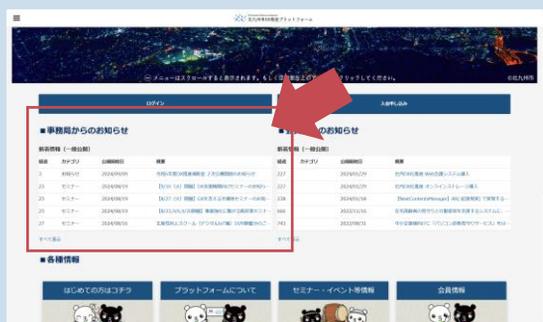
- ・申請は市が指定する所定の様式（Microsoft Excel）に自社のお取組み内容をご記載いただき、指定のメールアドレスまでご送付をいただきます。申請書のほか、審査の参考となるような資料を添付いただくことも可能です。

【募集要領・申請書のダウンロード方法】

「北九州市DX推進プラットフォーム」のホームページにて要領や申請書を公開しています。

下記URL、もしくは右の二次元コードからアクセスしてください。

<https://ktq-dx-platform.my.site.com/DXmain/s/>



「事務局からのお知らせ」から「北九州DX大賞の募集について」という記事にアクセスしてください。
※記事が表示されていない場合は、リスト下部の「すべて表示」をクリックしてください。

※昨年度の選定結果や取組内容についても公開しています。

【北九州市DX推進プラットフォーム】

DX
Propulsion Platform
in Kitakyushu



- ・DXを進めたい企業と、それをサポートできる企業や団体、また同じような課題をもつ方々を繋ぐプラットフォームです。
- ・ウェブページではDXに関する様々な「～したい」に対して、様々な情報提供等を行っております。

【企業概要】

代表者: 西原 靖博 URL: <https://www.nishihara-corp.jp/>
 資本金: 35,000,000円 従業員: 28名(グループ会社全体: 204名)



【主な事業概要】

- 下記3つの事業会社の経営管理
- ・株式会社西原商事: 資源物及び廃棄物の収集運搬・中間処理
 - ・株式会社ビートルエンジニアリング: リサイクルプラント運営
 - ・株式会社ビートルマネージメント: 環境関連システム及びアプリケーションの開発・提供、環境管理情報一元管理及びコンサルティング



【企業理念】

リサイクル・廃棄物処理事業を通じて、広く社会に期待される企業であること

取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- ・自社において働きやすい環境を追求し事業の持続可能性を高めると同時に、全国の同業者が抱える課題を解決し、業界全体の更なる成長を促す。
- ・蓄積したデータに基づく分析によって排出者(企業)における資源循環や脱炭素化を支援し、業界を横断してカーボンニュートラル実現を促進する。

【デジタル技術活用の取組】

- (1) 排出者(企業)向け廃棄物情報一元管理システムを業界に先駆け自社開発し全国リリース(特許/第4664437号)
- (2) 廃棄物処理業者向け運行支援アプリケーションの開発と外販準備
- (3) 一般家庭向け粗大ゴミ回収のアプリケーションの開発と全国リリース
- (4) 資源物自動選別AIロボットの開発と外販準備

【成果】

- (1) 企業の廃棄物処理適正化及び、資源循環推進に向けた計画策定の支援
 - (2) 廃棄物処理業者のDX促進及び、サービスの品質向上
 - (3) 既存の商圏・顧客(BtoB)から、新たな商圏・顧客(BtoC)の開拓
 - (4) 中間処理事業者の稼働安定化
- (1)~(4)のリリースに伴う新規売上の確保

【企業概要】

代表者: 松本 大毅 URL: <https://www.t-turret.co.jp/>
 資本金: 22,000,000円 従業員: 183名



【主な事業概要】

- ・自動車部品、電力部品、住宅設備部品の生産。
- ・非鉄金属(銅、アルミ、真鍮など)鍛造、アルミダイカスト、精密切削加工、摩擦圧接などの多様なコア技術を保有。
- ・設計、素形材、機械加工、アッセンブリの一貫対応。

【企業理念】

我が社は「覇気・誠実・廉価」を企業文化とし、お客様に喜ばれ感動を与える「ものづくり」を通じ、社員の幸せと豊かな社会づくりに貢献する



取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- ・当社は「覇気・誠実・廉価」を企業文化とし、社員の幸せと豊かな社会づくりに貢献するため製造業DXを推進している。IoT技術を活用し、生産現場の状況を把握し自動車部品事業ではTPSを導入し改善することで生産性向上。また、北九州IoT実践研究会で市内企業17社の困りごとを共有し、デジタル化に取り組んでおり中小製造業での製造業DX推進者とITベンダーのコーディネートを経営モデル化し革新的な価値を創造したい。

【デジタル技術活用の取組】

- ・IoT機器とYokakit(製造業のDXに向けた生産進捗管理ツール)を活用し、生産進捗をリアルタイムに収集。
- ・また、タブレットを使って内製でシステム構築し不具合情報などもリアルタイムに収集しレガシーシステムの技術的な負債を洗い出し、ITシステムとデジタル技術の最適化を目指すためのデータベース一元化プロジェクトを進行中。

【成果】

- ・製造業DXに取り組んだ事により、生産データへのアクセススピードが向上したことでPDCAのスピードが飛躍的に早くなり生産性を向上させ一人あたりの付加価値額(労働生産性)が向上。

【企業概要】

代表者: 松本 茂樹 <https://www.matsumoto-kk.co.jp/>
 資本金: 48,000,000円 従業員: 387名



【主な事業概要】

- ・自動車住宅部品事業(シートフレーム、ヘッドレストフレーム、ドアインパクトビーム、シートスライドレール等)
- ・金属製品事業(製品搬送用パレット、コンクリート型枠等)
- ・建築事業(ホテル、病院、マンション、事務所ビル、店舗、個人住宅等)
- ・化成・縫製品事業(ヘッドレスト、アームレスト等)の製造
- ・保育事業、流通事業(スーパーマーケット、生鮮市場)

【企業理念】

・顧客満足・社員満足・社会貢献・利益追求



取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

・経営ビジョンとして「Vision2030」を定めており、それは「環境とデジタルをキーとした独立系メーカーとしてのポジションを確立する。」という内容である。経営ビジョンを具現化するための経営方針として、新事業分野においては以下を策定している。

- 経営方針① 「圧倒的な燃費を実現する新時代の自動車開発」と「サプライチェーンの脱炭素化」への貢献につながる独自の「溶接レス工法(Jmec®)」の開発
- 経営方針② これまでのモノづくりのノウハウを生かした独自のSF(スマートファクトリー)生産システムの完成と、日本及び世界の製造業企業に向けた販売

【デジタル技術活用の取組】

- ・溶接レス工法(Jmec®)開発のため、シミュレーション技術を活用した最適形状探索の加速や、AIスタートアップ企業と連携した画像による品質保証システムを開発。
- ・スマートファクトリー生産システムの完成にむけた、帳票類の電子化、工場物流の自動化(AGVの自社開発)、生産スケジューラー、RFIDを活用した品質確保トレーサビリティシステム、安全確保システムなどを構築、運用。

【成果】

・工場内ペーパーレスによる省資源化・見える化、労務費低減・働く環境の改善、品質・生産性向上、安全向上などの成果が実現。

【企業概要】

代表者: 佐藤 裕之 URL: <https://evm-j.com/>
 資本金: 4,735,200,000円 従業員: 102名(2023年12月11日現在)



EV Motors Japan



【主な事業概要】

- ・電気自動車及び充電ステーションの販売、メンテナンス等
- ・自動運転対応バス(レベル4)の開発
- ・電気自動車のリース、レンタル、ESCO事業
- ・蓄電池・PVを活用した再生可能エネルギー事業

【企業理念】

・日本のバッテリー安全技術でゼロエミッション社会の実現を目指す

取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

・建設中の商用EV最終組み立て工場「ゼロエミッション e-PARK」は、ソーラーパネル、風力発電をはじめとした環境エネルギーをデジタル制御によってDX化し、『EVを広げる・EVを感じる・施設を楽しむ』をテーマに、EV車両の生産だけでなくとどまらず、試乗・試運転体験、工場見学、EV資料館などを一貫して楽しめる「体感型EV複合施設」としてビジネスを展開する。

【デジタル技術活用の取組】

- ・主力製品である商用EVバスに、独自技術のモーター制御システムを導入。リアルタイムでトルク制御が可能かつ走行時の加減速において電池消費をデジタルコントロールし、スムーズな出力制御による「低電費化とバッテリーの長寿命化」を実現。
- ・巨大なバッテリーを搭載した商用EVは、非常時の移動用電源車両としても活用できることから、蓄電池やCIGSソーラーパネルなどのエネルギーマネジメント関連のプロダクトと併せてワンストップ提案を行う。

【成果】

- ・車両情報をリモートかつリアルタイムで管理することを可能とし、充電残量や走行距離、車内気温などの車両状況から充電のタイミングを判断したり、運行中のトラブルを早期に検知し、リモートメンテナンスも実現。
- ・更なるDX化に向けた港湾の自動運転システム、急速充電を実現するEVバスのエネルギーマネジメントシステム、様々な最先端ソフトウェア技術も開発を進めており今後の車両搭載も計画。

【企業概要】

代表者: 松岡 隆弘 URL: <https://www.crown-pan.co.jp/>
 資本金: 35,000,000円 従業員: 400名



【主な事業概要】

- ・学校給食用のパン・米飯の8万名分の製造と配送。
- ・ミニクワッサン専門店「ミニヨン」を運営し、日産14万個のミニクワッサンを製造、販売。
- ・ベーカリー「クラウン」の運営。
- ・アイスクリーム専門店「雪文」の運営。

【企業理念】

- ・「地域社会への貢献」



取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- ・ビジネス機会を逃さずに実現する攻めの姿勢と、ビジネス環境の変化に速やかに対応する守りの姿勢の両立を実現する。

【デジタル技術活用の取組】

- ・中小企業がスピード感をもって事業の変革するには、効率よく組織運営を行い短期間で事業の目標を達成することが重要である。そのためにデジタル技術を活用し、C4Iシステム(軍隊における情報処理システム。部隊の統制や火力の効率的な発揮に必要不可欠)の観点から社内システムを構築。
- ・現場の情報は担当者の端末とネットワークを通してクラウド上にデータが蓄積され、それを上司に報告される。上司は情報に基づいてフィードバックを与えることで業務の統制管理を行っている。これを一部の従業員ではなく全員で出来るように、敷居の低い分かりやすい操作性を目指している。

【成果】

- ・事業活動がほぼ全て可視化され、意思決定を行う経営層や中間管理層が、同時進行する複数のプロジェクトや現場について漏らさず状況を把握し適切な指示を出せるようになった。その結果、実行漏れや伝達ミスが激減し、これまで後処理に追われていた経営層や中間管理層が本来の業務に集中できるようになり、組織運営のスピード感が劇的に向上した。

【企業概要】

代表者: 関 洋幸 URL: <https://www.kentoku-net.co.jp/>
 資本金: 27,000,000円 従業員: 9名



【主な事業概要】

- ・土木・建設の企画、設計、施工、監理
- ・土木・建設・電気工事に関する技術者の派遣
- ・測量及び測量設計
- ・土木・建設工事全般、防水工事業、電気工事業

【企業理念】

- ・指針として「社会から信頼され、他人に誠を尽くすことが〈徳〉であり、そうした〈徳〉を備えた人の集団である業にしたい」としたうえで、現状に甘んずることなく、チャレンジ精神を大切にしている。



取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- ・DXを通して、地方の建設業界の課題である人手不足の解決に向けて年齢・性別を問わず、また熟練者でなくてもチャレンジできる環境を創り、建設業界を活性化する。
- ・DX化により自社の多様な雇用を増やしながらも、社員の高齢化に伴う現場での労災事故の課題を新規事業である「健康・安全管理システム」の拡販で解決し、建設業界において誰もが安心して長く働ける環境を実現していく。

【デジタル技術活用の取組】

- ・新規事業で進めている健康安全管理システム開発。
- ・土木工事の測量工程に3次元レーザースキャナ、産業用ドローン二つの機械装置、測量機器杭なび・データ解析ソフトを導入。
- ・勤怠システムとしてジョブカンの導入。

【成果】

- ・機器導入により、精度の高い航空写真に加え、正確な3次元データ(点群データ、位置情報)が素早く取得できるようになり、作業に要する人員と作業時間の短縮・測量の品質向上と生産性向上が実現。危険箇所での作業が回避も実現。

【企業概要】

代表者: 中田 佳孝 URL: <https://hapikuro.com/>
 資本金: 5,500,000円 従業員: 19名



【主な事業概要】

- ・保育園運営事業
- ・IT/IoT導入サポート事業
- ・育児支援事業

【企業理念】

関わる人全てが成長し夢をかなえられる会社へ、関わる人全てが笑顔で生活できる社会へ



取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- ・保育業界従業員の労働環境のホワイト化を進め、現在保育業界に従事していない潜在保育士(保育士登録者の6割以上が保育業界に従事していない潜在保育士であるといわれている)を当業界に呼び戻すことで保育士不足を解消し、ひいては待機児童問題を解決する。
- ・当社が開発したIT/IoT製品・サービスを他業界にも提供することで、保育園の保育料だけに頼らないビジネスモデルを確立する。

【デジタル技術活用の取組】

- ・業務負担の低減に資するIT/IoT製品・サービスの開発及び提供。以下、製品・サービスの例。

ハピサポBabyセンサー	「午睡チェック」用IoTツール。お昼寝時の乳幼児の体動および呼吸ならびに乳幼児周囲の温湿度をセンサーで検知し、モニタリングし、自動記録することで保育士の業務負担を軽減。また、呼吸体動数が低下した際にアラートでお知らせする。
ハピサポセーフティカメラ	撮影する映像をAIが解析し、危険な行動や状態が発生するとアラートでお知らせする。保育園・幼稚園などの事故発生防止に効果的なAIカメラ。他業種・他企業にも活用可能。
FOOD CAPTAIN	食品衛生管理におけるHACCP対応をはじめとする様々なチェックや記録をペーパーレスで効率的に進められるクラウドサービス。計画作成から日々の記録と記録保管までを、PCまたはタブレットあるいはスマートフォンで実施可能。

【成果】

- ・当社が製品・サービスを提供した保育園等における従業員の業務負荷・ワークライフバランス・処遇の改善等。